

令和2年度第1回生涯活躍のまち整備事業地域再生協議会意見一覧

No.	委員名	寄せられたご意見及びご質問	事務局の考え方
1	金子委員	<p>【情報発信について】</p> <p>資料では、情報をFacebookで発信するとなっておりますが、ホームページとの連携はどのようになっていますでしょうか。</p> <p>また、最近の学生を見ていると、情報交換の主流はLINE、twitter、インスタグラムとなっております。Facebookは、さほど使われていないように思います。このため、他のSNSも含めて検討していただければと思います。</p> <p>また、開業後の、情報発信はどちらが担うのでしょうか？</p>	<p>現状の情報発信につきましては、江別版「生涯活躍のまち」構想や、本年3月に策定した「江別市生涯活躍のまち形成事業計画」をはじめ、事業者から提出された事業計画など、生涯活躍のまちに係る事業全般の紹介を市ホームページで、コーディネーターの様々な活動の紹介などを事業者が開設するFacebookで行っております。今後、市ホームページや事業者のホームページ及びFacebookの情報については、それぞれリンクを貼るなど連携を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、他のSNS活用につきましては、広報広聴課が管理している公式twitterの活用など、幅広い情報発信を検討してまいります。</p> <p>開業後の情報発信につきましては、市と事業者が連携を図り、より効果的な手法について相談しながら進めてまいりたいと考えております。</p>
2	谷川委員	<p>いつも豊かな創造性を持って、挑戦する気持ちを持ち続けて、地域再生の道を求めてほしいと願っております。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p>
3	小林委員	<p>【コーディネーター選任について】</p> <p>江別版CCRC”生涯活躍のまち”構想の成功の鍵はコーディネーターの手腕に係ると、第三回の会議でも、その重要性について議論されてきましたが、今回コーディネーターが選任されたのは、喜ばしく歓迎いたします。</p> <p>一つ疑問が残ります。この江別版CCRC構想の大きな目的の一つであり、江別市全体の活性化に繋げる為のアクティブシニアの転出抑制・子育て世代の転入促進を図る姿勢がうかがわれない。行政として市の職員のコーディネーター参画が何故無いのか。</p> <p>一般市民の中には、この構想を好意的に見ていない方が居る事も事実である。</p>	<p>江別版「生涯活躍のまち」構想に基づき策定した「江別市生涯活躍のまち形成事業計画」では、アクティブシニアの転出抑制の取組として、サービス付き高齢者向け住宅を整備するほか、拠点地域内における就業の場の整備や江別市シルバー人材センター等と連携した就業に関する情報提供等を行っていくこととしております。また、子育て世代の転入促進を図る取組としては、拠点地域の施設内保育所の整備のほか、就学前の子どもや保護者が交流できる場として「あそびの広場」を開催する予定でおります。市としては、同計画に掲げるアクティブシニアの転出抑制、子育て世代の転入促進策について、今後着実に取り組んでいく予定であります。</p> <p>コーディネーターの様々な活動は、市の本来業務として位置付けし、事業者である社会福祉法人日本介護事業団に委託しております。従って、コーディネーターとは適宜情報交換を行うほか、市として必要な助言等を行い活動していただいております。</p>

※いただいたご意見のとおり掲載しております